

# 目次

はじめに

序章 ト라우マケア/リカバリーの専門家養成のための国際連携プログラム開発を目指して

1.本書の背景

1-1 ト라우マケア/PTSD 予防の専門家養成の必要性和リカバリーモデルに基づくプログラムの開発

1-2 イスラエルのアートセラピストとの連携

2.本書の目的(ねらい)

3.本書の構成

第1部 ト라우マケアの今日的課題

第1章 日本にトラウマケアの力を育てる—東北復興支援における JISP の活動を通して—

1-1 概観

1-2 被災地のメンタルヘルス課題へのイスラエイドと JISP の対応

1-3 日本における心理社会的支援の課題と機会

1-4 心理社会的アプローチ

1-5 日本国際トラウマケア/緊急支援センター(Japan International Center for Trauma-care and Emergency Relief:JICTER)の設立へ

引用・参考文献

第2章 ト라우マケアにおける表現セラピー

2-1 表現セラピー(Expressive therapy)の歴史

2-2 表現セラピーとは

2-3 ト라우マ/PTSD とは

2-4 ト라우マケアの現在

2-5 ト라우マの問題に対する表現セラピー

引用・参考文献

第3章 ト라우マケア/リカバリーの専門家養成プログラム

—包括的グループ表現セラピーの視点—

3-1 日本国際トラウマケア/緊急支援センター[JICTER]の設立 (Japan International Center for Trauma-care and Emergency Relief)

3-2 JICTER の専門家養成プログラム立案の必要性

3-3 イスラエル視察

3-4 JICTER のプログラム案:包括的グループ表現セラピーの構築に向けて

引用・参考文献

第2部 ト라우マケア/PTSD 予防とグループ表現セラピーの実際

第4章 被災支援者養成のためのグループ表現セラピーの実際

はじめに 表現療法とイスラエル

4-1 ヒーリングジャパン・プロジェクトにおける表現セラピー

コラム 1:震災後の宮城 アートの役割

コラム 2:支援者を支援すること

4-2 アートセラピー(1)

コラム 3:自分の復興支援

4-3 アートセラピー(2)

コラム 4:被災地の対人支援者が触れた初めてのアートセラピー

4-4 表現アーツセラピー

4-5 ミュージックセラピー

コラム 5:アートのもつチカラ

4-6 ダンスムーブメントセラピー

コラム 6:チャンネルが開く感覚

4-7 グループセラピー

### 第3部 東日本大震災の「語り」に基づく苦労体験学の構築

はじめに 東日本大震災の「語り」に基づく苦労体験学の構築—心的外傷後成長(Posttraumatic Growth:PTG)の視点より—

第5章 心的外傷後成長(PTG)研究におけるナラティブ・アプローチ—苦労体験学(Suffering Experience Research)に向けて—

5-1 心的外傷後成長(PTG)とはなにか

5-2 心理学と心理療法におけるナラティブ

5-3 心的外傷後成長(PTG)研究におけるナラティブ・アプローチの意義

5-4 『東北の声』の記録からの体験談

5-5 結論および実践のための提案

第6章 テキストマイニングによる被災体験学(Disaster Experience Research)への混合研究法アプローチ—死に関する表現と心的外傷後成長(PTG)—

6-1 問題

6-2 目的

6-3 結果

6-4 考察

第7章 東北被災者における援助体験学(Helper Experience Research)—援助者セラピー原則(Helper Therapy Principle:HTP)に着目して—

はじめに

7-1 援助者セラピー原則(援助者療法)(Helper Therapy Principle:HTP)

7-2 被災と援助の体験による「分類」205

7-3 『東北の声—Voices of Tohoku』(一般社団法人 JISP)における被災者の6つのタイプ

7-4 方法

7-5 結果

7-6 考察

おわりに

コラム 7:女性達への聞き書きを通して—宮城県石巻市にて—

あとがき

謝辞

Acknowledgement